

常新新聞 刊夕日十二月二 發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地 印刷所 常磐毎日新聞社

カテイラン 妊婦に向く食物 婦人子を孕む邪味を食せず... 常磐文藝 隨想 (二) 正憲 鐘の音 城跡の頂より定刻六時を夕鐘の響音とて流し暮れかゝる細長き河畔に歌ふともなく歩むともなく彷徨する...

會報 一月廿六日附 雅號昇傳者 大井川 愛水 鈴木 草水 星野 磐洋 小松 磐城 阪本 磐城 鈴野 磐城 清野 磐城 矢吹 磐城 御代 磐城 齋藤 磐城 渡邊 磐城 小野 磐城 草野 磐城 坂本 磐城 鈴木 磐城 加藤 磐城 角張 磐城 大内 磐城 佐藤 磐城 中根 磐城 錦水流琵琶教授 (田町中島寫眞館裏) 磐水會本部

寄書 農村振興の 實際的方策を論ず 不登大岳人 農村生活の改善は屢々叫ばれる處であるが遺憾ながら...

有給外務員募集 業務簡易月給五拾圓外手當歩合にて月收百圓以上 人員五六名廿歳より四拾歳位 御希望の方は履歴書持参の上大至急御來談あられんことを乞ふ 平町田町六八 丸登株式会社 電話三二二二番 一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める 平町長橋町三五 川崎回文庫 (申込次第規則書進呈)

丸登株式會社 自動注油メタル、プリーリー 在庫 ゴムベルト、バラタベルト 佐藤鐵工所 電話三六二番

株式買中値 左記の値段は日本の標準値に付御用の節は御問合願候 東新株 先限 實物 丸登株式會社 川添房二郎

今曉入山第五坑の 坑内が閉ざる 猛火に

生死不明は十三名

毒ガス大爆發す

今曉二時廿分頃湯本町入山探炭株式會社第五坑の坑口から約六百五十間を経たる坑道内から發火し石油に延焼火勢一層猛烈となり直ちに會社にて非常召集を行つて消火に努力したが坑内に發生した毒ガス爆發して坑壁の石炭に燃え移り手の下し様なき爲め坑口を密閉し未だ鎮火するに至らず坑内は盛んに猛火が荒れ狂ひ此時に坑内にて作業中であつた機械職工三名坑夫九名内女一名運搬夫一名は生死不明で救助の途なし

め殆んど命は全し得られまいと目されるは左の十三名であるがその家族や親近者は坑口に到りし安否を氣つかつて號泣する様眼も當てられぬ悲惨事である

深瀬傳吉、長瀬長右工門、佐藤年一、長瀬カイ、古宮廣巳、廣庭助重、小林光太郎、作山忠利、渡邊卯吉、笹川愛廣、穂積仁三郎、三塚忠之助、野尼由次

平町讀書界の傾向

旺盛な知識慾の要求

一般に受ける雜誌の數々

調子がすつとクダケた『太陽』も頗る讀者の受けがよく婦人物では主婦之友を筆頭に『家庭雜誌』や『婦女界』『婦人世界』『婦人俱樂部』それから『淑女書報』と『婦人書報』も可成りに歡迎され『婦人公論』は婦人ばかりでなく

出火の現状

は右二坑道

出火現状は第五坑の右二坑道即ち坑口から六百五十間の地底である

原因は漏電

確定的でない

原因に就いては調査の方法に窮して居るが即ち坑道のスイッチから漏電したものの如く傳へられて居る

遺族の心配

生死不明の氏名

坑内にて作業中であつた爲

香坂知事の 初巡視

廿五日に來平

香坂本縣知事は左記の豫定に依り石城郡を初巡視すべく廿五日來平する筈

廿五日午前七時五十分にて富岡發午八時五十分に分四倉に到着同分署を視察し午前十時五十分四倉を出發來平、神谷農事試験分場、郡役所、警察署、中學校、女學校、裁判所、檢事局、水道貯水池、土木監督所、穀物検査所、訓官院、製菓會社を視察し住吉屋本店に投宿翌廿六日午前九時廿五分平驛六日午前九時廿五分平驛發にて磐城炭礦所を視察し新米に投宿廿七日午前九時豊岡へ出張同園を視察し引返つて江名漁港産業組合農業倉庫を視察午後三時江名發湯本に至り小野新町に向ふ

今晩は月蝕がある

午後十一時十八分頃が最もよく人の眼に映ず

本日から明日にかけて久し振りの月蝕がある本日は舊曆十六日に當り月は午後五時四分に出で十一時五十二分には西南に位する譯だが月蝕は其少し前の十一時十八分三秒に左の下からカゲ始め廿一日午前零時十九分六秒にはスッカリ暗くなり一時八分五秒が最も蝕の甚だしい時間でそれが一時五十分四分から生光を始め二時五十八分五秒に至つて復圓し初蝕から復圓まで三時間と四十分二秒を要する譯であるから最も人の眼に映するのは午後十一時十八分からである

警察署長がチブスに

防疫中に感染

石城郡植田警察分署長大塚重藏氏は九日來發熱甚だしく臥床中の處十八日午前二時片岡醫師診察の結果腸チブスと決定署内及び附近一帶の大消毒を行つたが多分同疫豫防に從事した際感染したものらしいと

農家の要望に添ふた

園藝大學盛況

石城農事試験分場開設記念の園藝大學に就いては既記の如くであるが其後聞く處に依れば多數の申込あり尙ほ開期の切迫に併れて益々増加の模様あるを見て此の企てが如何に現下農家の要望に添ふものであるかを窺ふ事が出来本縣園藝界の爲めに誠に喜ぶべきである

石城低利資金

内譯の金額

石城郡内各産業組合の本年度低利資金所用金額は六萬圓で内譯左の通りである

(三千圓)好間村、泉村、四倉町、玉川村(五千圓)小名濱町、豊間村、平窪村、窪田村、草野村(四千圓)植田町(二千五百圓)大浦村(一千五百圓)江名町(千五百圓)内郷村

珍聞奇聞

黄色な雪降る 新潟縣

十日町に數日來黄色な雪が降つた滿洲方面から吹き飛んで來た黄砂らしいとの事

花嫁様が盗む 新婚旅行

行で關西から東京へ歸る一等流車の中で佛英和女學校出身の花嫁様が手提を盗む

自働車が暴る 陸軍省

の自働車運轉手鈴木光三(三)が泥酔して運轉中人込みの中に乗入れ男女七名轢倒す

一夫多妻禁止 一夫多妻主義が公許されて居たトルコでは今度議會で全々罷りならぬと云ふ法律を制定

名代の女強盜 豊橋市

生れ前科四犯松下すぎ(八)が濱松の宿屋に迫り込み刑事に追はれ屋根傳ひに逃走

四倉銀行合併 四倉銀行

行にては資本金五萬圓の四倉信託株式會社を合併した

愛國婦人會が健康診断所

無料

平町に新設する

愛國婦人會東京支部では石城郡幹部の意見を徴した結果平町に兒童の無料健康診

輸入貨

今月中に顔を出す

ターシンとハミルトンが品切れになつてから平町には輸入煙草の顔がみられなくなつたが水戸地方專賣局へ支那太卷兩切コード千五百個スピーアが三千個來る筈であるから今月中には平町にも顔を出すか知れない

平署小泥警戒平町に

右眼下に裂傷 昨日午後二時半頃平町字長橋町關内半平氏裏手の田中中に積んで置いた藁ボチが燃え出してアハヤ大事に至らんとせるを附近の者駆け集り漸く消し止めたが同町松本嘉七氏は給水管取付作業中右眼下に裂傷を負ふた因に原因は子供の弄火らしいと

定したが是れに異議あるものは四月二十日迄に申立を爲され度し

「嘘潜水艦七十號を

見て」帝國館は「默示録の四騎士」の如き藝術的なもので深く映畫を上演してからついに名譽を博する事となつたが今度の「嘘潜水艦七十號」も先づ日本映畫としては上出来の部である、五味の健三は最初のシーンに於て晝休みの内職中工場長の目に止まつて狼ばいの餘り食かけの芋をふみ見たしゆん間の動作は自然にし様として却つて不自然に終つたのは遺憾だ其れから終に至つて工場長から直接結婚の事を言はれて驚いた時の表情も亦失敗に終つて居るのは返すくも遺憾だ其他の動作表情は先づ大出来であつた。(k o 生)

平劇場は減資平劇場

は曩に株主總會を開き資本金を五萬圓に減額すべく決